

IT 試験トレーニングアプリ

画面操作マニュアル

京都コンピュータ学院

## 1. 使用方法(共通)

### 1.1. ログイン画面

本アプリを使用するには、ログイン画面からユーザーID、パスワードを入力し、ログインボタンを押下することで、各画面へのアクセスが可能となる。

また、生徒/教員/管理者ともに、ログイン画面は共通である。



ログイン後にアクセスする画面は、ユーザーロールによって、それぞれ以下の通りに異なる。

管理者:生徒管理画面

教員:成績情報全体画面

生徒:成績情報個別画面

## 2. 使用方法(管理者)

### 2.1. 生徒管理画面

生徒管理画面は、サイドメニューの「生徒管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、入学年度、ユーザーID から学校に登録されている生徒の検索を行い、検索条件に該当する生徒を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 生徒追加ダイアログ
- 生徒パスワード変更画面
- 生徒削除前確認ダイアログ

生徒の検索については、以下の「入学年度」か「ユーザーID」、またはその両方を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。

また、「クリアボタン」を押下することで、入力した検索条件を初期化することができる。

入学年度

ユーザーID

検索を実行した場合、生徒一覧に、検索条件に該当した生徒が表示される。  
 生徒一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

入学年度

ユーザーID

生徒一覧  全て選択

<< 1 2 >>

ユーザーID	パスワード変更	削除
S23001	<input type="button" value="変更"/>	<input type="checkbox"/>
S23002	<input type="button" value="変更"/>	<input type="checkbox"/>
S23003	<input type="button" value="変更"/>	<input type="checkbox"/>

生徒一覧  全て選択

50  
 100  
 150

ページボタンを押下すると、選択したページの生徒一覧が表示される。



「全て選択」を押下することで、生徒一覧の生徒を一括してチェック/チェック解除することができる。



## 2.2. 教員管理画面

教員管理画面は、サイドメニューの「教員管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、ユーザーID から学校に登録されている教員の検索を行い、検索条件に該当する教員を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 教員追加ダイアログ
- 教員パスワード変更画面
- 教員削除前確認ダイアログ

教員の検索については、「ユーザーID」を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。

また、「クリアボタン」を押下することで、入力した検索条件を初期化することができる。

ユーザーID

検索
クリア

検索を実行した場合、教員一覧に、検索条件に該当した教員が表示される。  
 教員一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ユーザーID

検索
クリア

教員一覧  全て選択

5 ▼

<<

1

2

>>

ユーザーID	パスワード変更	削除
T00001	変更	<input type="checkbox"/>
T00002	変更	<input type="checkbox"/>
T00003	変更	<input type="checkbox"/>
T00004	変更	<input type="checkbox"/>
T00005	変更	<input type="checkbox"/>

削除
追加

教員一覧  全て選択

5 ▼

<<

1

2

>>

5

10

15

ユーザーID	パスワード変更	削除
T00001	変更	<input type="checkbox"/>

ページボタンを押下すると、選択したページの教員一覧が表示される。

教員一覧  全て選択

5 ▾ << 1 2 >>

ユーザーID	パスワード変更	削除
T00006	変更	<input type="checkbox"/>

「全て選択」をチェックすると、教員一覧の教員を一括してチェック/チェック解除することができる。

教員一覧  全て選択

5 ▾ << 1 2 >>

ユーザーID	パスワード変更	削除
T00001	変更	<input checked="" type="checkbox"/>
T00002	変更	<input checked="" type="checkbox"/>
T00003	変更	<input checked="" type="checkbox"/>
T00004	変更	<input checked="" type="checkbox"/>
T00005	変更	<input checked="" type="checkbox"/>

削除 追加

### 2.3. 管理者管理画面

管理者管理画面は、サイドメニューの「管理者管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、ユーザーID から学校に登録されている管理者の検索を行い、検索条件に該当する管理者を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 管理者追加ダイアログ
- 管理者パスワード変更画面
- 管理者削除前確認ダイアログ

管理者の検索については、「ユーザーID」を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。

また、「クリアボタン」を押下することで、入力した検索条件を初期化することができる。

ユーザーID

検索
クリア

検索を実行した場合、管理者一覧に、検索条件に該当した管理者が表示される。管理者一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ユーザーID

検索
クリア

管理者一覧  全て選択

5 ▾

<<
1
2
>>

ユーザーID	パスワード変更	削除
A00002	<span style="border: 1px solid #000; padding: 2px 5px;">変更</span>	<input type="checkbox"/>
A00003	<span style="border: 1px solid #000; padding: 2px 5px;">変更</span>	<input type="checkbox"/>
A00004	<span style="border: 1px solid #000; padding: 2px 5px;">変更</span>	<input type="checkbox"/>
A00005	<span style="border: 1px solid #000; padding: 2px 5px;">変更</span>	<input type="checkbox"/>
A00006	<span style="border: 1px solid #000; padding: 2px 5px;">変更</span>	<input type="checkbox"/>

削除
追加

管理者一覧  全て選択

5 ▾

5  
 10  
 15

<<
1
2
>>

ユーザーID	パスワード変更	削除
A00002	<span style="border: 1px solid #000; padding: 2px 5px;">変更</span>	<input type="checkbox"/>

ページボタンを押下すると、選択したページの管理者一覧が表示される。



「全て選択」をチェックすると、管理者一覧の管理者を一括してチェック/チェック解除することができる。



## 2.4. 試験利用管理画面

試験利用管理画面は、サイドメニューの「試験利用管理」を押下することでアクセスできる。

試験利用管理

アジャイルジェイビー : A00001

資格一覧

資格名	利用状況
ITパスポート試験	利用する ▼
情報セキュリティマネジメント試験	利用する ▼
基本情報技術者試験	利用する ▼
応用情報技術者試験	利用する ▼

更新

各試験の利用状況ドロップダウンの内容を変更して、更新ボタンを押下することで利用状況を更新できる。

「利用しない」を設定している場合、試験コースの選択ができない状態となる。

## 2.5. クラス管理画面

クラス画面は、サイドメニューの「クラス管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、年度、クラス名からクラスの検索を行い、検索条件に該当したクラスを一覧にして表示することができる。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- クラス追加ダイアログ
- クラス削除前確認ダイアログ
- クラス詳細画面
- 未登録者管理画面

クラスの検索については、以下の「年度」か「クラス名」、またはその両方を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、クラス一覧に、検索条件に該当したクラスが表示される。

1つのクラスごとに、教員/生徒ボタンが表示され、押下することで、そのクラスに所属する教員/生徒を検索する詳細画面へ遷移する。

年度

全年度 ▼

クラス名

検索

クラス一覧

5 ▼ << 1 >>

年度	学年	クラス名	教員詳細	生徒詳細	削除
2023	1年	1組	教員	生徒	○
2023	1年	2組	教員	生徒	○
2023	2年	1組	教員	生徒	○
2024	1年	1組	教員	生徒	○

クラス一覧

5 ▼

5

10

15

クラス一覧は、ページ単位で表示され、1ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページのクラス一覧が表示される。

クラス一覧

5 ▾ << 1 2 >>

年度	学年	クラス名	教員詳細	生徒詳細	削除
2024	2年	2組	教員	生徒	○

## 2.6. LTI 管理画面

LTI 管理画面は、サイドメニューの「LTI 管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、LTI 遷移リクエストを利用する際に必要となる情報を登録する各メンテナンス画面への遷移ボタンを表示している。

当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- コンシューマー管理画面
- プラットフォーム管理画面
- プライベートキー管理画面

コンシューマー管理画面は LTI1.1 準拠の LMS と連携する場合に設定し、プラットフォーム管理画面とプライベートキー管理画面は LTI1.3 準拠の LMS と連携する場合に設定する。

## コンシューマー管理画面

コンシューマー管理画面は、LTI 管理画面の「コンシューマー管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、登録されているコンシューマー情報を一覧にして表示することができる。また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- コンシューマー情報編集画面
- コンシューマー情報登録画面

コンシューマー管理画面に遷移した際、コンシューマー情報一覧に、登録されているコンシューマー情報が表示される。

1つのコンシューマー情報ごとに、編集ボタンが表示され、押下することで、そのコンシューマー情報を編集する画面へ遷移する。



### 3. 使用方法(教員)

#### 3.1. ダッシュボード画面

ダッシュボード画面は、サイドメニューの「ダッシュボード」を押下することでアクセスできる。



当画面では年度、学年、クラス、試験種別で検索を行い、該当する学年やクラスに所属する生徒の成績を取得し、様々なグラフを表示することができる。  
また、各グラフに使用しているデータの CSV ファイルを出力することもできる。

グラフを表示するには、以下の「年度」、「学年」、「クラス」、「試験種別」のドロップダウンを選択し、「表示する」ボタンを押下することで、画面に表示される。



「表示する」ボタンを押下すると、試験種別に応じた模擬試験の本番モードに関する合格率グラフと平均点グラフが表示される。



学年・クラスごとの正答率グラフを表示するには、以下のラジオボタンから対象となるデータの範囲を選択し、表示期間の開始終了日時を入力した後に「表示する」ボタンを押下することで画面に表示される。表示期間が未入力の場合は全期間となる。

The form contains the following elements:

- 学年・クラスごとの正答率グラフ表示
- 学年  クラス
- 表示期間: ----年--月 ☞ ~ ----年--月 ☞
- 表示する

「表示する」ボタンを押下すると、「学年」または「クラス」の正答率が画面に表示される。尚、このグラフに使用されるデータはトレーニング、模擬試験を区別せず、全ての回答内容を基に算出している。



### 3.2. 成績情報全体画面

成績情報全体画面は、サイドメニューの「成績情報」を押下することでアクセスできる。

成績情報全体 京都コンピュータ学院：T00001

入学年度  
全年度入学

ユーザーID

試験種別  
全試験

両方  トレーニングモード  模擬試験 **検索**

試験種別 ユーザーID 【最終】実施日付 実施区分 実施No. 分野/名称 点数 個別

当画面からは、入学年度、ユーザーID、試験種別、実施区分ラジオボタンから生徒の検索を行い、検索条件に該当した生徒の一覧を、直近の成績情報とともに表示することができます。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 成績情報個別画面

生徒の検索については、以下の「入学年度」、「ユーザーID」、「試験種別」またはその全てを入力し「実施区分」ラジオボタンを選択してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。

入学年度

ユーザーID

試験種別

両方
  トレーニングモード
  模擬試験

検索を実行した場合、検索条件に該当する生徒の一覧を表示する。  
 トレーニングまたは模擬試験を1回以上実施した生徒には、個別ボタンが表示され、  
 押下することで、その生徒の成績情報個別画面に遷移する。

入学年度

ユーザーID

試験種別

両方
  トレーニングモード
  模擬試験

50 << 1 >>

試験種別	ユーザーID	【最終】実施日付	実施区分	実施No.	分野/名称	点数	個別
基本情報技術者試験	S24202	2024/10/22	トレーニング	1	午前	0	<input type="button" value="個別"/>
ITパスポート試験	S24203	2024/10/22	模擬試験	1	ITパスポート模擬試験①	1	<input type="button" value="個別"/>
-	S24204	-	-	-	-	-	-
-	S24205	-	-	-	-	-	-
-	S24206	-	-	-	-	-	-

50 ▾

50

100

150

S22001

一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの生徒一覧が表示される。

50	<<	1	2	>>		
ユーザーID	【最終】実施日付	実施区分	実施No.	分野/名称	点数	個別
S23053	-	-	-	-	-	-

### 3.3. 成績情報個別画面

成績情報個別画面は、教員と生徒で同じ画面を共有している為、説明は、成績情報個別画面にて行う。

### 3.4. 成績情報詳細画面

成績情報詳細画面は、教員と生徒で同じ画面を共有している為、説明は、成績情報詳細画面にて行う。

### 3.5. 模擬試験管理画面

模擬試験管理画面は、サイドメニューの「模擬試験管理」を押下することでアクセスできる。

試験名称	期間開始日時	期間終了日時	更新日時	実施結果	編集	コピー
本番テスト (事前練習) (コピー)	2024-07-01 15:12:00	2024-07-31 15:12:00	2024-07-16 14:20:29	結果	編集	コピー
本番テスト (事前練習)	2024-07-01 15:12:00	2024-07-31 15:12:00	2024-07-16 14:21:00	結果	編集	コピー
本番テスト	2024-07-01 15:11:00	2024-07-31 15:11:00	2024-07-11 15:11:29	結果	編集	コピー

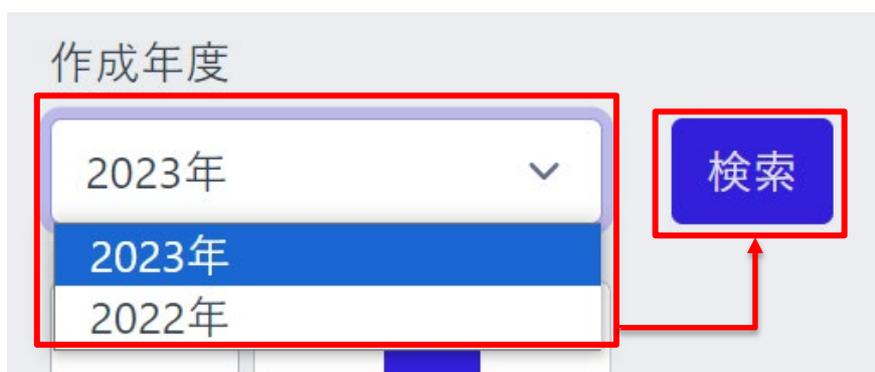
当画面は、作成年度から登録されている模擬試験の検索を行い、検索条件に該当する模擬試験を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 模擬試験新規作成画面

- 模擬試験編集画面
- 模擬試験実施結果画面

模擬試験の検索については、以下の「作成年度」を選択し、「検索」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。



※ 画面表示時は登録済みの模擬試験の中で作成年度が最新の年度を選択している状態にする。

模擬試験管理画面の表示時、または検索を実行した場合、模擬試験一覧に、検索条件に該当した模擬試験の情報を表示する。

また、各画面にアクセスするボタンの内容は下記通りである。

「新規作成」ボタンを押下することで、模擬試験新規作成画面にアクセスする。

「結果」ボタンを押下することで、模擬試験実施結果画面にアクセスする。

「編集」ボタンを押下することで、模擬試験編集画面にアクセスする。

「コピー」ボタンを押下することで、模擬試験新規作成画面にアクセスする。

作成年度

2024年

新規作成

検索

5

試験名称	期間開始日時	期間終了日時	更新日時	実施結果	編集	コピー
学内模試（練習用）	2024-07-01 15:12:00	2024-07-31 15:12:00	2024-07-17 11:17:18	結果	編集	コピー
本番テスト（事前練習）（コピー）	2024-07-01 15:12:00	2024-07-31 15:12:00	2024-07-16 14:20:29	結果	編集	コピー
本番テスト（事前練習）	2024-07-01 15:12:00	2024-07-31 15:12:00	2024-07-16 14:21:00	結果	編集	コピー
2年生向け12月実施	2024-07-01 15:11:00	2024-07-31 15:11:00	2024-07-17 11:16:24	結果	編集	コピー
本番テスト	2024-07-01 15:11:00	2024-07-31 15:11:00	2024-07-11 15:11:29	結果	編集	コピー

5

5

10

15

模擬試験一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの模擬試験一覧が表示される。

5

<< 1 2 >>

試験名称	期間開始日時	期間終了日時	更新日時	実施結果	編集	コピー
本番テスト	2024-07-01 15:11:00	2024-07-31 15:11:00	2024-07-11 15:11:29	結果	編集	コピー

更新日時	実施結果	編集
2024-01-22 15:30:51	結果	編集

統計情報更新

なお、通常は表示されないが、模擬試験を生成する際に利用する正答率などの情報が一定期間更新されていないと「統計情報更新」ボタンが表示される。通常は夜間バッチによって自動的に統計情報が更新されるため、表示されない。表示された場合にものみボタンを押下して統計情報を更新する。

### 3.6. 模擬試験新規作成画面

模擬試験新規作成画面は、模擬試験管理画面の「新規作成」ボタンを押下することでアクセスできる。

模擬試験管理

アジャイルジェイピー：T00001

模擬試験 新規作成

年度  名称  試験種別

公開期間  ~  制限時間  分 受験上限回数  回 モード選択  本番  チャレンジ

備考

ストラテジ系 35/35 マネジメント系 20/20 テクノロジ系 45/45 総問題数 100/100

5 << 1 2 3 4 5 ... 20 >> 出題順のシャッフル

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
1	2019	ストラテジ系	207	0	0	0.0	削除	詳細
(中略)								
4	2019	ストラテジ系	230	0	0	0.0	削除	詳細
5	2019	ストラテジ系	233	0	0	0.0	削除	詳細

過去問検索 ランダムな問題を追加

登録 戻る

当画面では、年度、名称、試験種別、制限時間、公開期間、備考の情報と過去問題を追加し、「登録」ボタンを押下することで、模擬試験を新規で作成することができる。また、「戻る」ボタンを押下することで、模擬試験管理画面にアクセスできる。

過去問題一覧に表示される各問題には、「詳細」ボタンがあり、押下することで、以降の模擬試験問題詳細画面にアクセスできる。

## 模擬試験の名称等の設定

## ① 年度

模擬試験の利用年度の設定をする項目である。

下記画像のようにテキストボックスとカウントボタンを用いて、年度の設定を行う。

▲ボタンを押下すると数値が増加し、▼ボタンを押下すると数値が減少する

また、直接入力も可能である。ただし、この年度は管理上の年度であって受験期間の縛り等は発生しない。入力必須の項目である。

## ② 名称

模擬試験の名称を設定する項目である。入力必須の項目である。

## ③ 試験種別

模擬試験に追加する問題の試験種別を設定する項目である。

IT パスポート試験以外を選択することで、分野を設定するラジオボタンが表示され、選択した分野に該当する問題のみが追加することができる。

ただし、1問でも問題を追加している場合は変更することができない。

試験種別

情報セキュリティマネジメント試験 ▼

午前 午後 科目A・B

## ④ 公開期間(開始)

模擬試験の公開開始日時を設定する項目である。また、日時は直接入力も可能である。カレンダーの日付と時間を選択し生徒が受験可能な期間の設定を行う。授業の中で一斉に行う場合はその開始時間を設定することで事前に受験することを防げる。

公開期間

2023/11/29 00:00 年/月/日 --:--

2023年(令和5年) 11 月

日	月	火	水	木	金	土	23	59
29	30	31	1	2	3	4	00	00
5	6	7	8	9	10	11	01	
12	13	14	15	16	17	18	02	01
19	20	21	22	23	24	25	03	02
26	27	28	29	30	1	2	04	03
3	4	5	6	7	8	9	05	04

削除 今日

## ⑤ 公開期間(終了)

模擬試験の公開終了日時を設定する項目である。

④と同様にカレンダー日時を選択、または直接入力することにより設定を行う。

## ⑥ 制限時間

模擬試験の制限時間を設定する項目である。

①と同様に直接入力、またはカウントボタンを用いて設定を行う。入力必須の項目である。

制限時間

120 分

## ⑦ 受験上限回数

チャレンジモードの場合の受験可能回数の設定を行う。

⑧ モード選択

1 回のみ受験可能な「本番」と複数回受験可能な「チャレンジ」のモードのどちらかを設定する。

⑨ 備考

模擬試験に関する付属情報を設定する項目である。

例) 模擬試験は一度しか受験できません。

制限時間は 120 分です。

過去問題の追加には以下の二つの方法がある。①で必要な問題を選択し、次に②で不足分をランダムに追加する操作を想定している。

①「過去問検索」ボタンからの追加

条件に合致するものを教員が選択し追加する方法で、説明は、以降の過去問検索ダイアログにて行う。

②「ランダムな問題を追加」ボタンからの追加

ランダムに問題を追加する方法で、ボタンを押下することでストラテジ系 35 問、マネジメント系 20 問、テクノロジー系 45 問までで不足している問題数分を各分野ランダムに選択し自動的に追加することができる。

IT パスポート試験以外では、選択している分野に該当する問題を 20 問までランダムに選択し、自動的に追加することができる。

ストラテジ系 0/35 マネジメント系 0/20 テクノロジー系 0/45 総問題数 0/100

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
模擬試験詳細情報が1件もありません。								

過去問検索 ランダムな問題を追加

ストラテジ系 35/35 マネジメント系 20/20 テクノロジー系 45/45 総問題数 100/100

5 << 1 2 3 4 5 ... 20 >> 出題順のシャッフル

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
1	2019	ストラテジ系	205	31	26	65.4	削除	詳細
2	2019	ストラテジ系	210	36	33	63.6	削除	詳細
3	2019	ストラテジ系	212	28	25	64.0	削除	詳細
4	2019	ストラテジ系	213	30	27	92.6	削除	詳細
5	2019	ストラテジ系	235	30	26	100.0	削除	詳細

過去問検索 ランダムな問題を追加

5 ▾  
5  
20  
50

追加した過去問題一覧は、ページ単位で表示され、1ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの過去問題一覧が表示される。

5 ▾ << 1 2 3 4 5 ... 20 >> 出題順のシャッフル

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
6	2020	ストラテジ系	301	31	28	64.3	削除	詳細
7	2020	ストラテジ系	306	32	26	61.5	削除	詳細
8	2020	ストラテジ系	308	31	28	64.3	削除	詳細

追加した過去問題は「削除」ボタンを押下することで、削除することができる。

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
1	2022	ストラテジ系	12	2	1	0.0	削除	詳細
2	2022	ストラテジ系	3	17	4	50.0	削除	詳細
3	2022	ストラテジ系	6	17	4	50.0	削除	詳細

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
1	2022	ストラテジ系	12	2	1	0.0	削除	詳細
2	2022	ストラテジ系	6	17	4	50.0	削除	詳細

### 過去問検索ダイアログ

過去問検索ダイアログは、模擬試験新規作成、編集画面の「過去問検索」ボタンを押下することでアクセスできる。



検索条件

分野  年度

出題回数  ~  回答回数  ~

正答率  ~  検索

年度  分野  問題ID  出題回数  回答回数  正答率  詳細

問題ID:

追加 キャンセル

当ダイアログでは、教員が過去問題の検索を行い、親画面（模擬試験新規作成、編集画面）に新しく過去問題の追加を行う。

「キャンセル」ボタンを押下することで、過去問検索ダイアログを閉じることができる。

過去問題追加手順としては下記通りである。

①過去問題の検索 → ②問題の詳細確認 → ③親画面に過去問題の追加

### ①過去問題の検索

分野、年度、出題回数、回答回数、正答率を条件として検索を行い、過去問題一覧を表示することができる。

検索条件

分野  
全分野

年度  
全て

出題回数  
1 ~ 100

回答回数  
~

正答率  
~

5 ▾

<< 1 2 3 4 5 ... 21 >>

年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率	詳細
2022	ストラテジ系	3	17	4	50.0	詳細
2022	ストラテジ系	6	17	4	50.0	詳細
2022	ストラテジ系	7	36	1	0.0	詳細

5 ▾

5  
20  
50

一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの過去問題一覧が表示される。

5 ▾

<< 1 2 3 4 5 ... 41 >>

年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率	詳細
2022	ストラテジ系	6	17	4	50.0	詳細
2022	ストラテジ系	7	36	1	0.0	詳細

## ②問題の詳細確認

過去問題一覧に表示した各問題の「詳細」ボタンを押下することで、問題文を表示し、詳細を確認することができる。

<input type="checkbox"/>	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	3	17	4	50.0	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	6	17	4	50.0	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	7	36	1	0.0	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	10	25	3	66.7	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	12	2	1	0.0	詳細

問題ID:3

問3 ゲーム機、家電製品などに搭載されている、ハードウェアの基本的な制御を行うためのソフトウェアはどれか。

ア グループウェア

イ シェアウェア

ウ ファームウェア

エ ミドルウェア

### ③親画面に過去問題の追加

模擬試験の問題として、採用する問題のチェックボックスにチェックを入れ、「追加」ボタンを押下することで、親画面に問題を反映することができる。なお、既に模擬試験の中に含まれている場合は追加されない。ストラテジ系 35 問、マネジメント系 20 問、テクノロジー系 45 問を超えても追加する事ができる。

<input type="checkbox"/>	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率	詳細
<input checked="" type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	1	66	46	60.9	詳細
<input checked="" type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	2	37	30	46.7	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	3	33	25	48.0	詳細
<input checked="" type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	4	37	29	51.7	詳細
<input type="checkbox"/>	2022	ストラテジ系	5	66	42	45.2	詳細

問題ID:2

問2 年齢、性別、家族構成などによって顧客を分類し、それぞれのグループの購買行動を分析することによって、集中すべき顧客層を絞り込むマーケティング戦略として、最も適切なものはどれか。

ア サービスマーケティング                      イ セグメントマーケティング  
 ウ ソーシャルマーケティング                  エ マスマーケティング

追加      キャンセル

ストラテジ系 3/35    マネジメント系 0/20    テクノロジー系 0/45    総問題数 3/100

5    << 1 >>    出題順のシャッフル

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
1	2022	ストラテジ系	1	66	46	60.9	削除	詳細
2	2022	ストラテジ系	2	37	30	46.7	削除	詳細
3	2022	ストラテジ系	4	37	29	51.7	削除	詳細

過去問検索      ランダムな問題を追加

### 模擬試験コピー機能

一覧の「コピー」ボタンを押下することで、既存の模擬試験の内容をコピーした模擬試験新規作成画面を呼び出すことができる。試験内容はコピー元と全く同じになるが、名称は末尾に「(コピー)」が追加されたものとなり、すぐに登録しても見分けが付くようになっている。

また、「出題順のシャッフル」ボタンを押下すると、問題の差し替えはせずに出題順のみランダムに変更する事が可能になる。模擬試験コピー機能の用途として、学内で実施する模擬試験の練習のため本番モードの試験とは別に試験内容の全く同じチャレンジモードの模擬試験を作る事を想定している。

模擬試験 新規作成

年度	2024	名称	ITパスポート模試(コピー)	試験種別	ITパスポート試験					
公開期間	2024/04/01 00:00 ~ 2024/05/31 00:00	制限時間	120 分	受験上限回数	1 回	モード選択	<input type="radio"/> 本番 <input checked="" type="radio"/> チャレンジ			
備考	null									
ストラテジ系	35/35	マネジメント系	19/20	テクノロジー系	46/45	総問題数	100/100			
5	<<	1	2	3	4	5	...	20	>>	出題順のシャッフル
No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細		
1	2022	ストラテジ系	1	20132	14238	100.0	削除	詳細		

## 3.7. 模擬試験編集画面

模擬試験編集画面は、模擬試験管理画面の「編集」ボタンを押下することで、アクセスできる。

また、操作手順については、模擬試験新規作成画面と同様の為、省略する。

※模擬試験編集画面の場合、模擬試験管理画面で選択した模擬試験の情報を入力した状態で表示される。

模擬試験管理 アジャイルジェイピー：T00001

作成年度 新規作成

2024年 検索

5 << 1 2 >>

試験種別	試験名称	期間開始日時	期間終了日時	更新日時	実施結果	編集	コピー
情報セキュリティマネジメント試験	SG科目AB模擬試験	2024-10-01 16:01:00	2024-10-31 16:01:00	2024-10-24 17:12:42	結果	編集	コピー
情報セキュリティマネジメント試験	SG科目ABチャレンジ模擬試験	2024-10-01 16:01:00	2024-10-31 16:01:00	2024-10-16 16:02:00	結果	編集	コピー
ITパスポート試験	学内模試（練習用）	2024-10-01 00:00:00	2024-10-30 00:00:00	2024-10-25 10:16:52	結果	編集	コピー
ITパスポート試験	ITパスポート模擬試験⑤	2024-09-01 00:00:00	2024-09-30 00:00:00	2024-09-26 15:53:00	結果	編集	コピー

模擬試験管理 アジャイルジェイピー：T00001

**模擬試験 編集**

年度  名称  試験種別

公開期間  ~  制限時間  分 受験上限回数  回 モード選択  本番  チャレンジ

備考

ストラテジ系 35/35 マネジメント系 19/20 テクノロジ系 46/45 総問題数 100/100

5 << 1 2 3 4 5 ... 20 >> 出題順のシャッフル

No.	年度	分野	問題ID	出題回数	回答回数	正答率(%)	削除	詳細
1	2022	ストラテジ系	1	20132	14238	100.0	削除	詳細



## 3.9. 模擬試験実施結果画面

模擬試験実施結果画面は、模擬試験管理画面の「結果」ボタンを押下することでアクセスできる。

三 

模擬試験管理 京都すばる高校：T00001

### 模擬試験 実施結果

年度  名称  制限時間

公開期間  登録日時

備考

ストラテジ系 35/35 マネジメント系 20/20 テクノロジ系 45/45 **総問題数 100**

20 ▾ << 1 2 3 4 5 >>

No.	年度	分野	問題番号	出題回数	回答回数	正答率	詳細
1	2021	ストラテジ系	126	2	1	100.0	<a href="#">詳細</a>
2	2022	ストラテジ系	11	2	0	0.0	<a href="#">詳細</a>
...	...	...	...	...	...	...	...
19	2022	ストラテジ系	7	2	0	0.0	<a href="#">詳細</a>
20	2021	ストラテジ系	131	2	0	0.0	<a href="#">詳細</a>

[戻る](#)

(中略)

当画面は、模擬試験に関する設定情報と、生徒が実施した各問題の成績統計を表示する。「詳細」ボタンを押下することで、模擬試験問題詳細画面にアクセスできる。「戻る」ボタンを押下することで、模擬試験管理画面にアクセスできる。

### 3.10. 学習結果分析画面

学習結果分析画面は、サイドメニューの「学習結果分析機能」を押下することでアクセスできる。

学習結果分析機能

アジャイルジェイビー：T00001

年度  
2023年度

学年 クラス  
1年 1組

試験種別  
ITパスポート試験

正答率  
検索

問題一覧  
問題番号 分野 正答率 詳細

当画面は、教員が担当するクラスに所属する生徒が回答した問題の検索を行い、検索条件に該当した問題を、正答率が低く、誤答が特定の回答に偏っている問題から順に表示することができる。

また、当画面から、学習結果詳細画面にアクセスできる。

問題の検索については、以下の「年度」、「学年」、「クラス」、「試験種別」を選択し、「正答率」を入力してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。

年度  
2023年度

学年 クラス  
1年 2組

試験種別  
ITパスポート試験

正答率  
検索

検索を実行した場合、問題一覧に、検索条件に該当した問題が表示される。

1つの問題ごとに、詳細ボタンが表示され、押下することで、その問題の画像や出典を表示する詳細画面へ遷移する。

年度  
2023年度 ▾

学年 クラス  
1年 ▾ 2組 ▾

試験種別  
ITパスポート試験 ▾

正答率  
~

問題一覧  
10 ▾ << 1 >>

問題番号	分野	正答率	詳細
55	テクノロジー系	33.9	詳細
36	マネジメント系	62.6	詳細
1	ストラテジ系	75.7	詳細

問題一覧  
10 ▾  
10  
20  
50

問題一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページのクラス一覧が表示される。

問題一覧

10 ▾ << 1 2 3 4 5 6 7 >>

問題番号	分野	正答率	詳細
36	マネジメント系	52.9	詳細
1	ストラテジ系	68.3	詳細

### 学習結果詳細画面

学習結果詳細画面は、問題一覧の、詳細ボタンを押下することでアクセスできる。

学習結果分析機能 アジャイルジェイビー：T00001

問題ID：55

問55 情報セキュリティにおける PCI DSS の説明として、適切なものはどれか。

ア クレジットカード情報を取り扱う事業者に求められるセキュリティ基準  
イ コンピュータなどに内蔵されるセキュリティ関連の処理を行う半導体チップ  
ウ コンピュータやネットワークのセキュリティ事故に対応する組織  
エ サーバやネットワークの通信を監視し、不正なアクセスを検知して攻撃を防ぐシステム

出典：令和4年度分 テクノロジ系 問55

解答群(累計)

ア	4回
イ	4回
ウ	3回
エ	7回

正解 ア 正答率 33.9%

戻る

当画面は、問題の画像、出典、各選択肢に生徒が回答した回数、正解の選択肢、正答率を表示することができる。

戻るボタンを押下することで、学習結果分析画面にアクセスできる。

### 3.11. CSV エクスポート画面

CSV エクスポート画面は、サイドメニューの「CSV エクスポート」を押下することでアクセスできる。

CSVエクスポート アジャイルジェイピー：T00001

試験種別  
全試験

出力対象の選択  トレーニング  模擬試験

無制限集中トレーニングの結果を含む

全て選択

対象入学年度一覧

対象入学年度	選択
2024	<input type="checkbox"/>
2023	<input type="checkbox"/>
2022	<input type="checkbox"/>
2021	<input type="checkbox"/>
2020	<input type="checkbox"/>

実施履歴ダウンロード 閲覧履歴ダウンロード

当画面は、選択した入学年度の生徒について、トレーニングと模擬試験の成績の詳細を含む実施履歴と、過去の実施結果の閲覧履歴を別々の CSV ファイルでエクスポートできる。

エクスポートしたい種類(トレーニングか模擬試験)を選択し、入学年度の選択にチェックを入れ、「実施履歴ダウンロード」ボタンを押下することで、選択した入学年度に該当する生徒の成績情報の CSV ファイルがエクスポートされる。閲覧履歴のダウンロードも同様の操作となる。

注:無制限集中トレーニングの結果を含めるかどうかについて  
無制限集中トレーニングはその他のトレーニングとは違い、総問題数がバラバラで非常に多くなるためエクスポート対象から除外する事ができる。



「全て選択」をチェックすると、対象入学年度を一括して、チェック/チェック解除することができる。



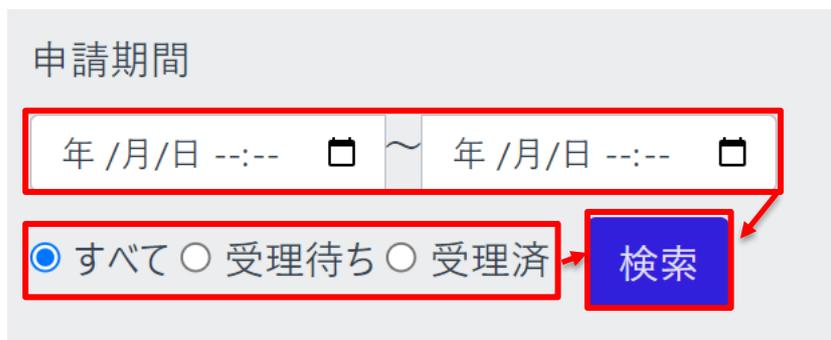
## 3.12. 合格申請受理画面

合格申請受理画面は、サイドメニューの「合格申請」を押下することでアクセスできる。



当画面からは、申請期間、申請状態ラジオボタンから生徒の検索を行い、検索条件に該当した生徒の合格申請を表示することができる。

生徒の検索については、以下の「申請期間」を入力し「申請状態」ラジオボタンを選択してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、検索条件に該当する生徒の一覧を表示する。

申請中である生徒には、受理ボタンが表示され、既に受理が済んでいる生徒には、受理済ボタンが表示される。

受理ボタンを押下することで、その生徒の申請を受理することができる。

申請期間

年/月/日 --:-- ☒ ~ 年/月/日 --:-- ☒

すべて  受理待ち  受理済

5 ▾ << 1 >>

ユーザーID	資格名称	合格日	申請日	受理
S23901	ITパスポート試験	2024年10月01日	2024年10月23日	受理済
S23902	情報セキュリティマネジメント試験	2024年09月01日	2024年10月23日	受理

5 ▾

5

10

15

一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

### 3.13. 画面操作マニュアル

説明は、使用方法(管理者)の画面操作マニュアルと同一である為、省略する。

## 4. 使用方法(生徒)

### 4.1. 試験コース選択画面

試験コース選択画面は、ログイン直後、またはヘッダのユーザーアイコンから「試験選択画面へ」を押下することでアクセスできる。



当画面ではトレーニング、模擬試験を行う対象の試験を選択することができる。各試験コースに応じたボタンを押下することで、その試験コースのダッシュボード画面に遷移する。

また、試験コースボタンの右下には、ログインしているユーザーの学習状況に合わせて、4段階に変化するバッジが表示される。

試験コース毎に利用状況が管理されており、利用しない試験コースに該当するボタンはグレーアウトされ、押下することができない。



## 4.2. ダッシュボード画面

ダッシュボード画面は、サイドメニューの「ダッシュボード」を押下することでアクセスできる。



当画面では、選択している試験コースに関する成績データを基に、ログインしている生徒に関する様々なグラフや、模擬試験に関するお知らせを表示することができる。また、各グラフに使用しているデータのCSVファイルを出力することもできる。

### 模擬試験に関するお知らせ

選択している試験コースの模擬試験(本番モード)に関するお知らせが表示される。本画面に遷移することで、模擬試験(本番モード)の公開期間を基に、以下 3 種類の固定文言によるお知らせを自動的に表示する。

【予告】: 現在日時から 1 週間以内に公開開始となる模擬試験を示すお知らせ。

2024年10月25日 : 【予告】11月1日より第3回ITパスポート模擬試験が公開されます。

【開始】: 現在公開されている模擬試験を示すお知らせ。

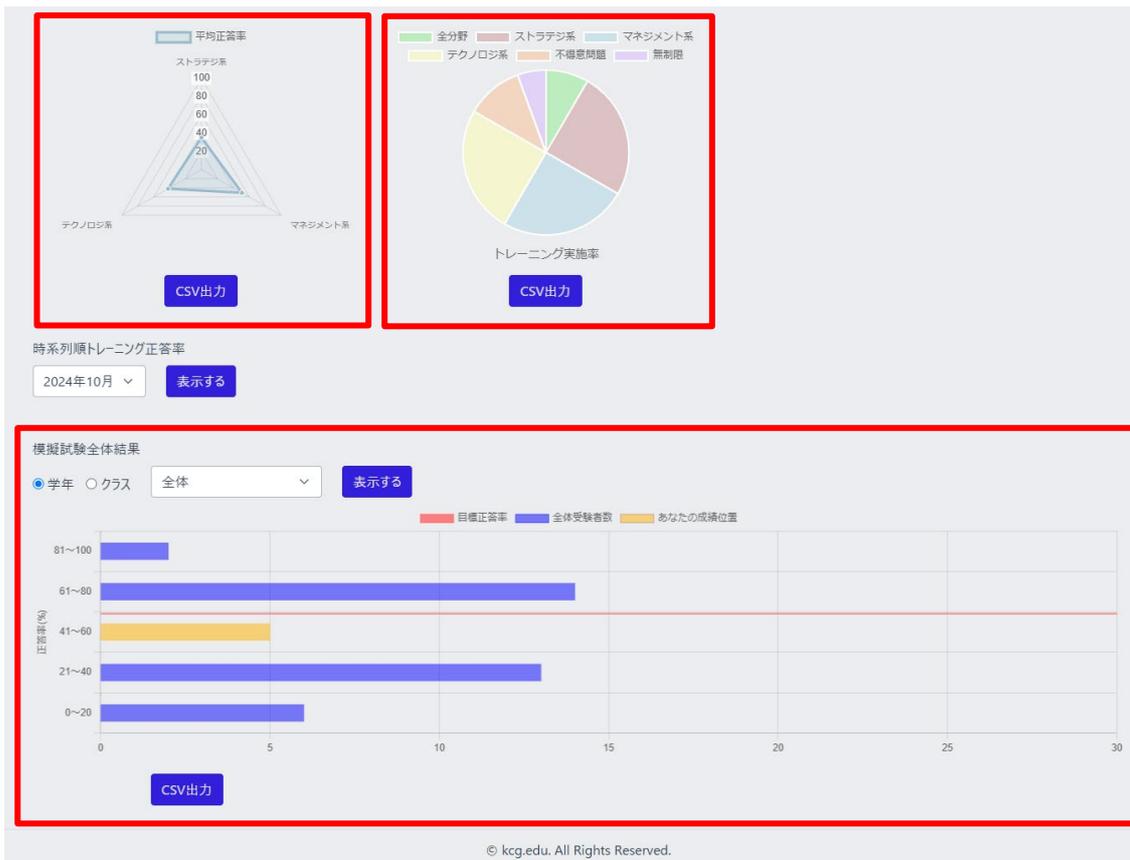
2024年10月01日 : 【開始】第2回ITパスポート模擬試験が公開されました。

【重要】: 現在日時から 1 週間以内に公開終了となる模擬試験を示すお知らせ。

2024年10月24日 : 【重要】第1回ITパスポート模擬試験が10月31日で終了します。

## グラフ表示エリア

トレーニングの平均正答率グラフや実施率グラフ、模擬試験全体結果グラフに関しては、本画面に遷移することで自動的に表示される。



### 4.3. 成績情報個別画面

生徒の場合、成績情報個別画面は、サイドメニューの「成績情報」を押下することでアクセスできる。

教員の場合、成績情報個別画面は、成績情報全体画面の個別ボタンを押下することでアクセスできる。

※以下の画像は生徒の場合

成績情報個別 ITパスポート試験コース アジャイルジェイピー : S24001

ユーザーID : S24001  
 両方  トレーニングモード  模擬試験

5 << 1 2 3 4 5 ... 9 >>

実施日付	実施区分	実施No.	分野/名称	点数	詳細
2024/11/21	トレーニング	81	全分野	0	詳細
2024/11/18	トレーニング	80	無制限	4	詳細
2024/11/18	トレーニング	79	全分野	5	詳細
2023/09/01	模擬試験	1	ITパスポート模擬試験⑤	80	詳細
2023/09/01	模擬試験	3	ITパスポートチャレンジ②	40	詳細

ITパスポート試験の過去問題から、各分野の問題をランダムに10問出題します。  
 下のボタンを押すと、トレーニングがスタートします。

当画面は、1名の生徒が過去に実施したトレーニングと模擬試験の成績一覧を表示することができる。

#### 4.4. 成績情報詳細画面

成績情報詳細画面は、成績情報個別画面、もしくは、問題出題画面、模擬試験問題出題画面の「終了」ボタンからアクセスできる。

成績情報詳細 ITパスポート試験コース アジャイルジェビー：S24001

第79回目トレーニング(全分野) 5点/10点中 実施日：2024/11/18

正解した回答を表示する 間違った回答を表示する

第79回目トレーニング(全分野) 1問目/10問

問17 BYODの事例として、適切なものはどれか。

ア 会社から貸与されたスマートフォンを業務中に私的に使用する。  
イ 会社から貸与されたスマートフォンを業務で使用する。  
ウ 会社が利用を許可した私物のスマートフォンを業務で使用する。  
エ 私物のスマートフォンを業務中に私的に使用する。

出典：令和4年度分 ストラテジ系 問17

ア イ ウ エ  正解：イ

(中略)

第79回目トレーニング(全分野) 10問目/10問

問83 1から6までの六つの目をもつサイコロを3回投げたとき、1回も1の目が出ない確率は幾らか。

ア  $\frac{1}{216}$     イ  $\frac{5}{72}$     ウ  $\frac{91}{216}$     エ  $\frac{125}{216}$

出典：令和6年度分 テクノロジ系 問83

ア イ ウ エ  正解：エ

当画面は、生徒が選択した解答、正解の選択肢、採点結果を表示することができる。トレーニングの場合は、1回のトレーニングで出題された10問の問題文を表示する。模擬試験の場合は、1回の模擬試験で出題された全ての問題文を表示する。

戻るボタンを押下することで、成績情報個別画面にアクセスできる。

正解・不正解のフィルタリングについてはチェックボックスの「正解した回答を表示する」「間違った回答を表示する」もしくは両方のチェックボックスを選択し「表示する」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。

※以下は正解のみの回答を表示している。

The screenshot displays the app's interface for a training session. At the top, it shows '第4回目トレーニング(テクノロジー系) 3点/10点中 実施日: 2023/12/03'. Below this, there are two checkboxes: '正解した回答を表示する' (checked) and '間違った回答を表示する' (unchecked), followed by a '表示する' button. The first question, '問93', asks for the ratio of the long side of A3 paper to A4 paper. The options are 'ア 1.41', 'イ 1.5', 'ウ 1.73', and 'エ 2'. The correct answer 'ア' is selected, and the text '正解:ア' is shown. The second question, '問82', asks for the method of using multiple computers for parallel processing. The options are 'ア ウェアラブルコンピューティング', 'イ グリッドコンピューティング', 'ウ モバイルコンピューティング', and 'エ ユビキタスコンピューティング'. The correct answer 'イ' is selected, and the text '正解:イ' is shown.

## 成績情報詳細画面(CBT 方式)

成績情報詳細画面(CBT 方式)は、成績情報個別画面、もしくは、問題出題(CBT 方式)画面、模擬試験問題出題(CBT 方式)画面の「終了」ボタンからアクセスできる。

成績情報詳細

情報セキュリティマネジメント試験コース アジャイルジェビー：S24001

TOP

ダッシュボード

成績

成績情報

トレーニング(問題集)

午前

科目A・B

午後

模擬試験

本番(1回限り受験可能)

情報セキュリティマネジメント試験

情報セキュリティマネジメント試験

チャレンジ(複数回受験可能)

第86回目トレーニング(科目A・B) 4点/10点中 実施日：2024/11/22

正解した回答を表示する  間違った回答を表示する

第86回目トレーニング(科目A・B) 1問目/10問

問3 デジタルフォレンジックスの説明はどれか。

ア サイバー攻撃に関連する脅威情報を標準化された方法で記述し、その脅威情報をセキュリティ対策機器に提供すること

イ 受信メールに添付された実行ファイルを動作させたときに、不正な振る舞いがなにかどうかをメールボックスへの保存前に確認すること

ウ 情報セキュリティインシデント発生時に、法的な証拠となるデータを収集し、保管し、調査分析すること

エ 内部ネットワークにおいて、通信データを盗聴されないように暗号化すること

出典：令和5年度分 科目A・B 問3

正解：ウ

(中略)

第86回目トレーニング(科目A・B) 10問目/10問

問11 全社的な推進体制で RPA を導入するときの留意点として、適切なものはどれか。

ア 各業務部門が連携して、RPA の対象業務に対して業務プロセス全体の可視化と業務プロセスの見直しを行った上で、RPA の導入を行う。

イ 業務フローが固定的で画面の変更が少ない業務よりも、業務フローの変更や画面の変更が多い業務から優先的に導入する。

ウ 情報システム部門や他部門との連携は行わずに、個々の業務部門が主導して、RPA ツールの選定、ソフトウェアロボットの作成、活用及び運用を推進する。

エ ルール化された処理や繰り返し処理が多い業務よりも、例外処理が多い業務や条件が複雑な業務に対して、優先的に RPA の導入を行う。

出典：令和6年度分 科目A・B 問11

正解：ア

戻る

当画面は、生徒が選択した解答、正解の選択肢、採点結果を表示することができる。トレーニングの場合は、1回のトレーニングで出題された10問の問題文を表示する。模擬試験の場合は、1回の模擬試験で出題された全ての問題文を表示する。

正解・不正解のフィルタリングや、「戻る」ボタンを押下時の挙動は成績情報詳細画面と共通の為、説明は省略する。

#### 4.5. 問題出題(全分野)開始画面

問題出題(全分野)開始画面は、サイドメニューの「全分野」を押下することでアクセスできる。



「トレーニング(全分野) 開始」ボタンを押下することで、以降の問題出題(全分野画面)にアクセスできる。

## 問題出題(全分野)画面

当画面は、問題出題(全分野)開始画面から、「トレーニング(全分野) 開始」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、選択された分野の問題を、IT パスポート試験の過去問題からランダムに10問出題する画面である。

出題された問題の解答をア、イ、ウ、エの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1つ前の問題出題画面にアクセスできる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

トレーニングの終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部にトレーニング終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。終了後は成績情報詳細画面にアクセスする。



#### 4.6. 問題出題(ストラテジ系)開始画面

問題出題(ストラテジ系)開始画面は、サイドメニューの「ストラテジ系」を押下することでアクセスできる。



以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(ストラテジ系)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

#### 4.7. 問題出題(マネジメント系)開始画面

問題出題(マネジメント系)開始画面は、サイドメニューの「マネジメント系」を押下することでアクセスできる。



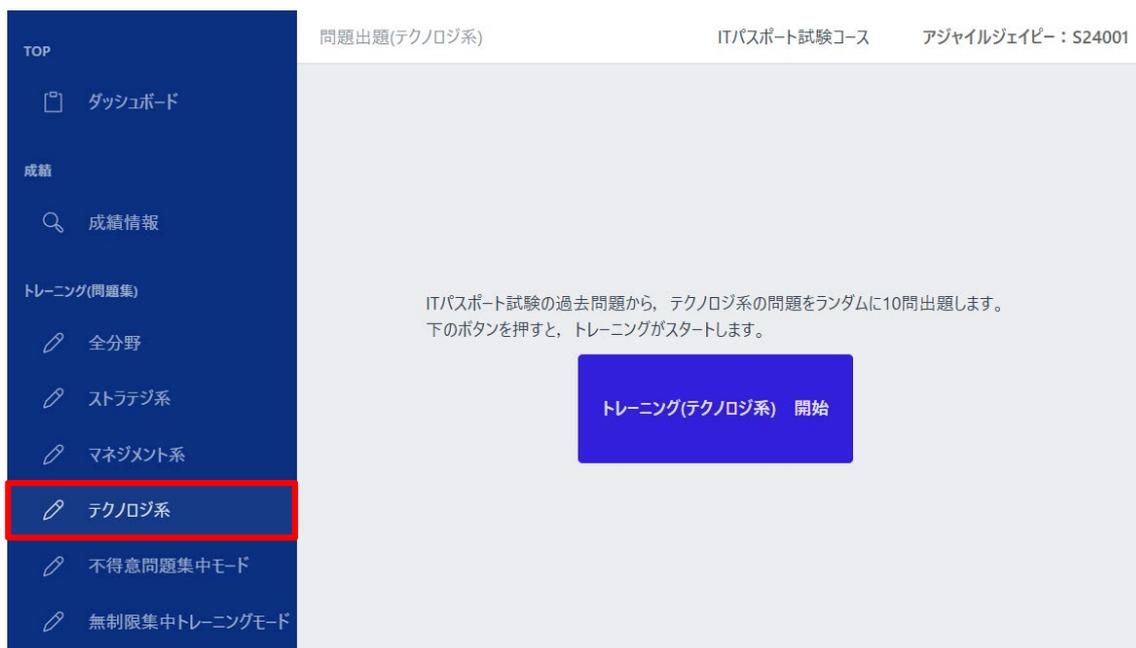
以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(マネジメント系)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

#### 4.8. 問題出題(テクノロジー系)開始画面

問題出題(テクノロジー系)開始画面は、サイドメニューの「テクノロジー系」を押下することでアクセスできる。



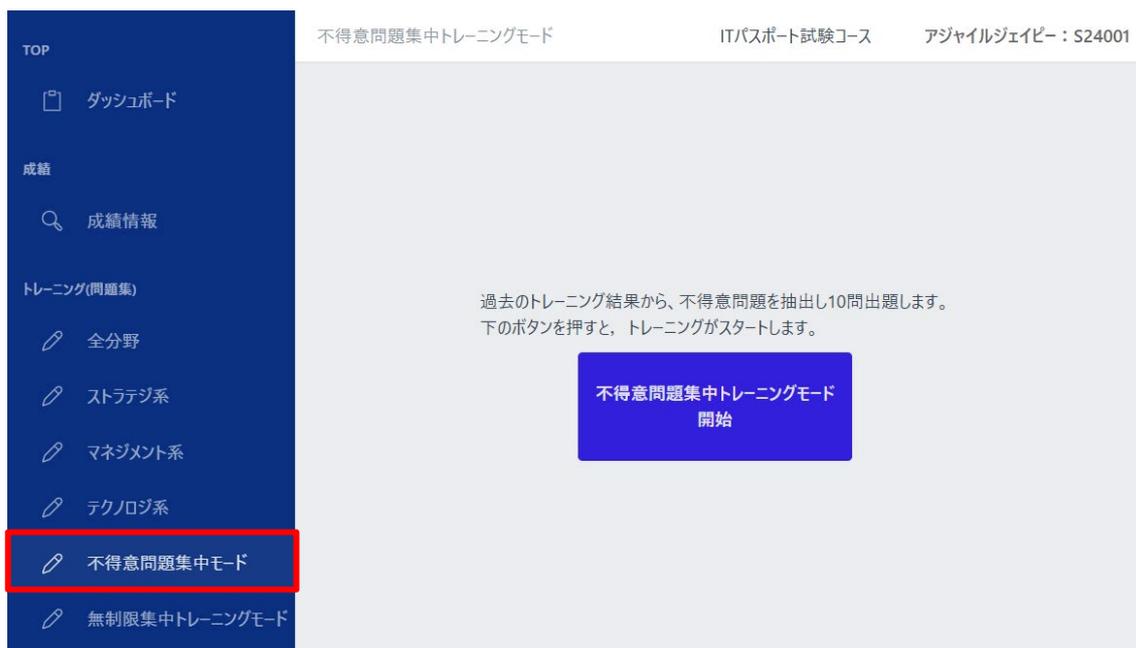
以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(テクノロジー系)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

#### 4.9. 問題出題(不得意問題集中モード)開始画面

問題出題(不得意問題集中モード)開始画面は、サイドメニューの「不得意問題集中モード」を押下することでアクセスできる。



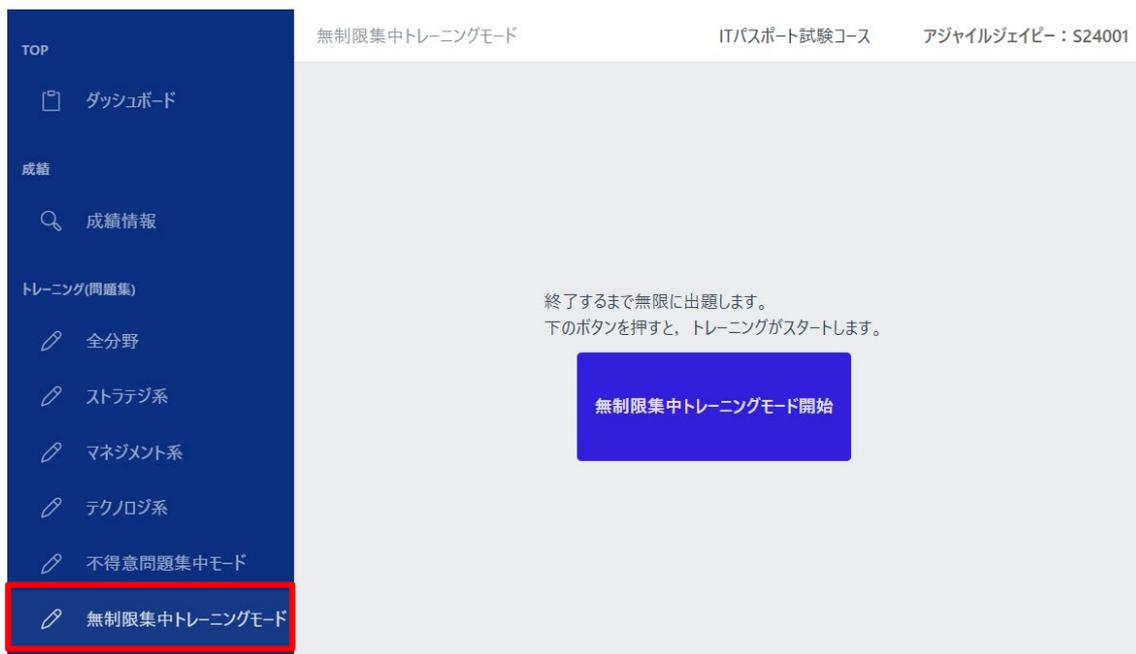
以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(不得意問題集中モード)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

#### 4.10. 問題出題(無制限集中トレーニングモード)開始画面

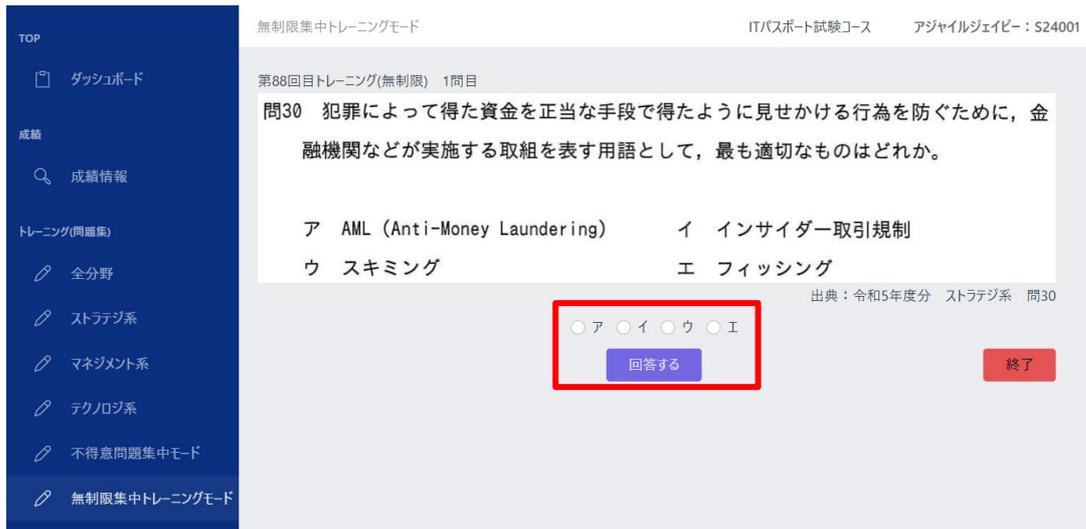
問題出題(無制限集中トレーニングモード)開始画面は、サイドメニューの「無制限集中トレーニングモード」を押下することでアクセスできる。



「無制限集中トレーニングモード開始」ボタンを押下することで、以降の問題出題(無制限集中トレーニングモード)画面にアクセスできる。

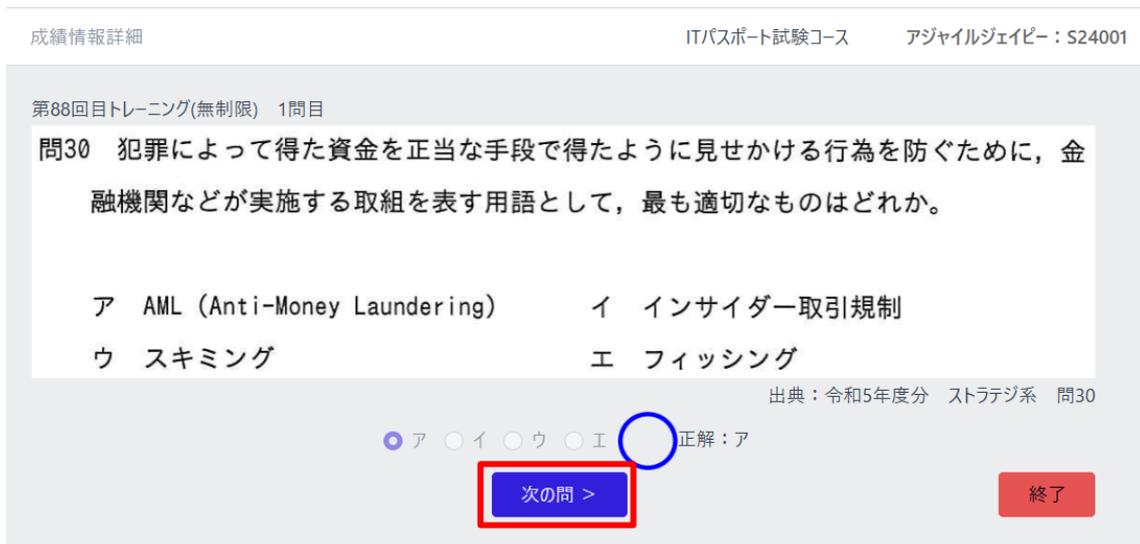
## 問題出題(無制限集中トレーニングモード)画面

当画面は、無制限集中トレーニングモード開始画面から、「無制限集中トレーニングモード 開始」ボタンを押下することでアクセスできる。



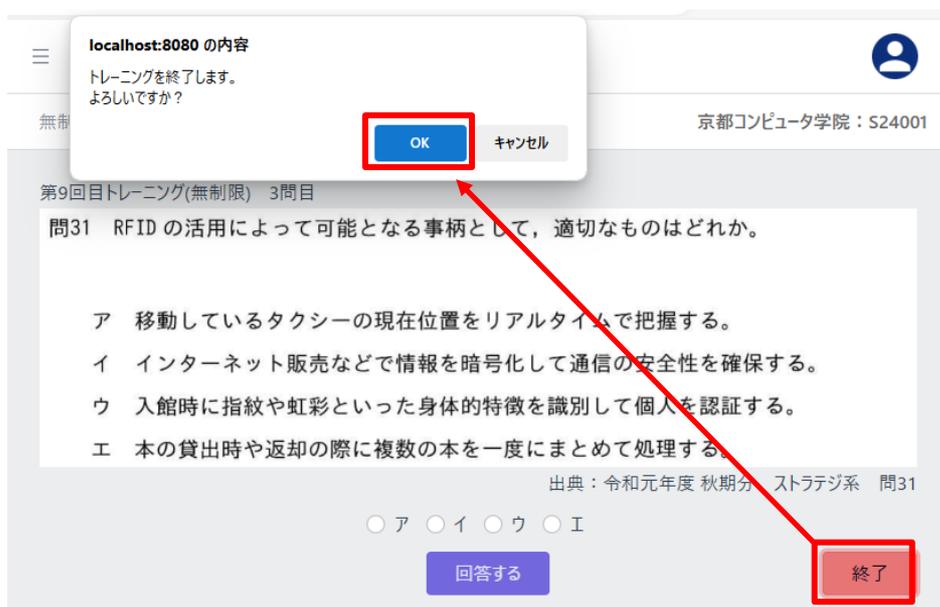
当画面は、選択された分野の問題を、IT パスポート試験の過去問題からランダムに出題する画面である。出題された問題の解答をア、イ、ウ、エの中から選択し、「回答する」ボタンを押下することで、解答画面を表示する。

※解答が未選択の場合は解答画面にアクセスはできない。



「次の問」ボタンを押下するか、5秒程度放置すると次の出題画面が表示され、終了するまで最大 100 問継続することができる。

トレーニングの終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部にトレーニング終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができます。終了後は成績情報詳細画面にアクセスする。



#### 4.11. 問題出題(CBT 方式)開始画面

問題出題(CBT 方式)画面は、サイドメニューの以下に該当する項目を押下することでアクセスできる。

情報セキュリティマネジメント試験 : 科目 A・B

基本情報技術者試験 : 科目 A、科目 B、科目 A 免除



「トレーニング開始」ボタンを押下することで、以降の問題出題(CBT 方式)画面にアクセスできる。

## 問題出題(CBT 方式)画面

当画面は、CBT 方式のトレーニング開始画面から、「トレーニング開始」ボタンを押下することでアクセスできる。

科目A・B問題トレーニングモード 情報セキュリティマネジメント試験コース アジャイルジェイビー：S23901

第88回目トレーニング(科目A・B) 7問目/10問

問14 A社は旅行商品を販売しており、業務の中で顧客情報を取り扱っている。A社が保有する顧客情報は、A社のファイルサーバ1台に保存されている。ファイルサーバは、顧客情報を含むフォルダにある全てのデータを磁気テープに毎週土曜日にバックアップするよう設定されている。バックアップは2世代分が保存され、ファイルサーバの隣にあるキャビネットに保管されている。

A社では年に一度、情報セキュリティに関するリスクの見直しを実施している。情報セキュリティリーダーであるE主任は、A社のデータ保管に関するリスクを見直し図1にまとめた。

1. (省略)  
2. (省略)  
3. (省略)  
4. バックアップ対象とするフォルダの設定ミスによって、データが復旧できなくなる。

図1 A社のデータ保管に関するリスク(抜粋)

E主任は、図1の4のリスクを低減するための対策を検討し、効果が期待できるものを選んだ。

< 前の問 次の問 > 終了

当画面は、選択された分野の問題を試験コースに応じた過去問題からランダムに10問出題する画面である。

出題された問題の解答を画面右側の解答ボタンの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1つ前の問題出題画面にアクセスできる。

解答ボタンは問題によって増減し、押下済みのボタンを再度押下することで未回答の状態に戻すことができる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

トレーニングの終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部にトレーニング終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができます。終了後は成績情報詳細画面(CBT方式)にアクセスする。

The screenshot displays the training application interface. At the top, a confirmation dialog box is shown with the text "トレーニングを終了します。よろしいですか？" (Do you want to end the training?). The dialog has two buttons: "OK" (highlighted with a red box) and "キャンセル" (Cancel). Below the dialog, the main screen shows a question titled "問12 特性要因図を説明したものはどれか。" (Question 12: Which one explains the characteristic cause-and-effect diagram?). The question text is: "ア 原因と結果の関連を魚の骨のような形態に整理して体系的にまとめ、結果に対してどのような原因が関連しているかを明確にする。" (A: Organize the relationship between cause and effect into a fishbone-like form, summarize it systematically, and clarify which causes are related to the result.); "イ 時系列的に発生するデータのばらつきを折れ線グラフで表し、管理限界線を利用して客観的に管理する。" (I: Represent the variation of data occurring chronologically with a line graph, and use the management limit line to manage objectively.); "ウ 収集したデータを幾つかの区間に分類し、各区間に属するデータの個数を棒グラフとして描き、品質のばらつきを捉える。" (U: Classify the collected data into several intervals, draw the number of data points belonging to each interval as a bar graph, and capture the variation in quality.); "エ データを幾つかの項目に分類し、出現頻度の大きさの順に棒グラフとして並び、累積和を折れ線グラフで描き、問題点を絞り込む。" (E: Classify data into several items, arrange them in order of frequency of occurrence as a bar graph, draw the cumulative sum as a line graph, and narrow down the problem points.). On the right side of the question screen, there are four buttons labeled "ア", "イ", "ウ", and "エ", with "エ" selected. At the bottom right of the question screen, there is a "終了" (End) button (highlighted with a red box) and two navigation buttons: "< 前の問" (Previous question) and "次の問 >" (Next question). The source information at the bottom right reads "出典：令和6年度分 科目A・B 問12" (Source: Heisei 6th year, Subject A・B, Question 12).

## 4.12. 模擬試験開始画面

模擬試験開始画面は、サイドメニューの受験可能な模擬試験を押下することでアクセスできる。

サイドメニューには本番モードのものとチャレンジモードのものと分けて表示される。

受験可能な模擬試験がない場合は、サイドメニューに「現在、公開中の試験問題はありません。」と表示される。



生徒が模擬試験に向けて練習する場合はチャレンジモードの模擬試験を選ぶ。チャレンジモードの場合は残り受験可能な回数が表示される。

「試験開始(再開)」ボタンを押下することで、以降の模擬試験問題出題画面にアクセスできる。ブラウザが突然終了した等のトラブルに備え、模擬試験を終了するか、制限時間を超えない限りここから模擬試験を再開できる。

## 模擬試験問題出題画面

模擬試験問題出題画面は、模擬試験開始画面から「試験開始(再開)」ボタンを押下することでアクセスできる。

問題出題(令和5年度-確認模擬試験)

京都すばる高校：S23003

残り時間：119分35秒

第1問 / 100問

問26 企業の人事機能の向上や、働き方改革を実現することなどを目的として、人事評価や人材採用などの人事関連業務に、AI や IoT といった IT を活用する手法を表す用語として、最も適切なものはどれか。

ア e-ラーニング

イ FinTech

ウ HRTech

エ コンピテンシ



当画面は、選択された模擬試験の問題を出題する画面である。

出題された問題の解答をア、イ、ウ、エの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。

また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1つ前の問題出題画面にアクセスできる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

模擬試験の終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部に模擬試験終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。終了後は成績情報詳細画面にアクセスする。



#### 4.13. 模擬試験(CBT 方式)開始画面

模擬試験(CBT 方式)開始画面は、サイドメニューの受験可能な CBT 方式に対応した分野の模擬試験を押下することでアクセスできる。

サイドメニューには本番モードのものとチャレンジモードのものと分けて表示される。生徒が模擬試験に向けて練習する場合はチャレンジモードの模擬試験を選ぶ。チャレンジモードの場合は残り受験可能な回数が表示される。



「試験開始(再開)」ボタンを押下することで、以降の模擬試験(CBT 方式)問題出題画面にアクセスできる。ブラウザが突然終了した等のトラブルに備え、模擬試験を終了するか、制限時間を超えない限りここから模擬試験を再開できる。

## 模擬試験(CBT 方式)問題出題画面

模擬試験(CBT 方式)問題出題画面は、模擬試験(CBT 方式)開始画面から「試験開始(再開)」ボタンを押下することでアクセスできる。

問題出題(SG科目ABチャレンジ模擬試験) 情報セキュリティマネジメント試験コース アジャイルジェイピー：S23901

残り時間：114分2秒  
第6問 / 20問

問15 A社は、飲食店へのコンサルティングを行う従業員50名の企業である。A社の全てのPCでは、マルウェア対策ソフト(以下、Xソフトという)が有効にされている。ある日、総務部の情報セキュリティリーダーであるC課長は、部下のDさんから、次の連絡を受けた。

- ・A社のPCのWebブラウザでWebサイトを閲覧していたところ、PCがマルウェアに感染しているとの警告画面(以下、警告画面という)が全画面に表示された。
- ・警告画面が表示されたあと何もPCの操作をせずに直ちにC課長に連絡をした。

C課長は、情報システム部に報告した。情報システム部はDさんのPCを確認し、数時間後、図1のとおり報告した。

1. 警告画面には、次が表示されていた。

- ・Xソフトの製品のロゴ
- ・マルウェアを削除するためのツールをインストールする指示
- ・サポートが必要な場合の電話番号とチャットウィンドウ

2. 念のため、Xソフトを使ってDさんのPCをスキャンしたが、マルウェアは検出されなかった。また、警告画面の表示は、Xソフトによるものではないことを確認した。

3. 昨今、類似した警告画面の事例の報告が日本国内で増えている。

図1 情報システム部からの報告

ア
イ
ウ
エ
オ

< 前の問
次の問 >
終了

当画面は、選択されたCBT方式の模擬試験の問題を出題する画面である。

出題された問題の解答を画面右側の解答ボタンの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。

また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1つ前の問題出題画面にアクセスできる。

解答ボタンは問題によって増減し、押下済みのボタンを再度押下することで未回答の状態に戻すことができる。

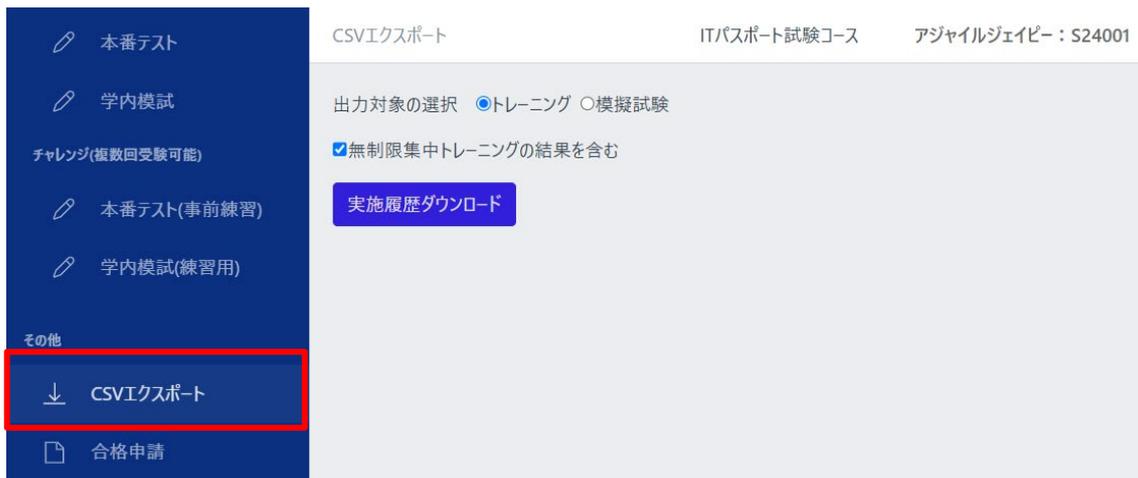
※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

模擬試験の終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部に模擬試験終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。終了後は成績情報詳細画面(CBT方式)にアクセスする。

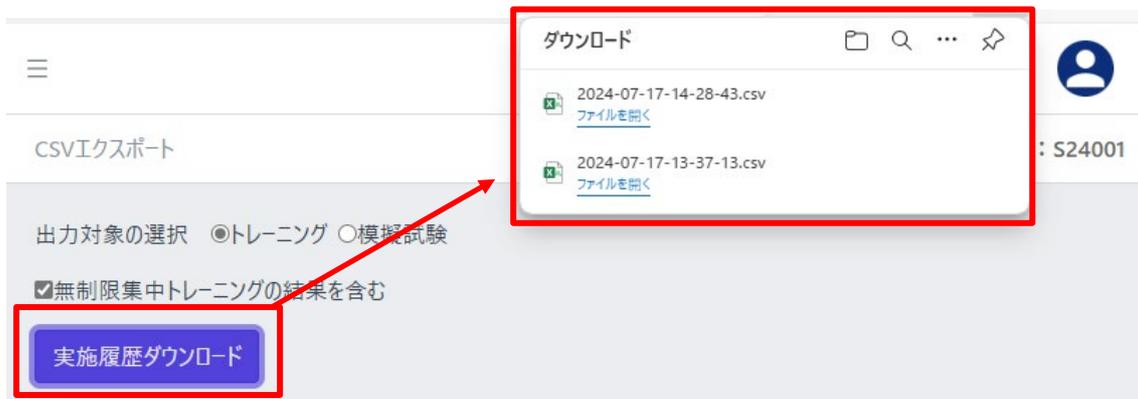
The screenshot displays the application interface during a simulated exam. At the top, a notification dialog box is open, titled "localhost:8080 の内容" (Content of localhost:8080). The message inside reads: "模擬試験を終了します。よろしいですか?" (We will end the simulated exam. Is it all right?). The dialog has two buttons: "OK" (highlighted with a red box) and "キャンセル" (Cancel). Below the dialog, the main screen shows a question titled "問1 情報セキュリティ管理基準（平成 28 年）に関する記述のうち、適切なものはどれか。" (Question 1: Which of the following descriptions regarding the Information Security Management Standards (Heisei 28) is appropriate?). The question text includes options A, B, C, and D. On the right side of the question, there are four buttons labeled "ア", "イ", "ウ", and "エ". At the bottom of the screen, there are three buttons: "< 前の問" (Previous question), "次の問 >" (Next question), and "終了" (End), with the "終了" button highlighted by a red box. A red arrow points from the "終了" button to the "OK" button in the dialog box. The top right corner shows a user profile icon and the text "セキュリティマネジメント試験コース" (Security Management Exam Course) and "アジャイルジェイピー：S23901". The bottom left corner shows "残り時間：111分24秒" (Remaining time: 111 minutes 24 seconds) and "第7問 / 20問" (Question 7 / 20 questions).

#### 4.14. CSV エクスポート画面

CSV エクスポート画面は、サイドメニューの「CSV エクスポート」を押下することでアクセスできる。



当画面は、トレーニングと模擬試験の成績の詳細を含む実施履歴を CSV ファイルでエクスポートできる。



エクスポートしたい種類(トレーニングか模擬試験)を選択し、「実施履歴ダウンロード」ボタンを押下することで、成績情報の CSV ファイルがエクスポートされる。

注: 無制限集中トレーニングの結果を含めるかどうかについて

無制限集中トレーニングはその他のトレーニングとは違い、総問題数がバラバラで非常に多くなるためエクスポート対象から除外する事ができる。